

冬号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和4年2月27日(日)

10:00~12:00

場所：郡山カルチャーパーク 工作室

定員：10名

内容：ミニ盆栽づくり

受講料：500円

募集期間：令和4年2月4日(金) 9:00から

令和4年2月13日(日)17:00まで

申込方法：電話又は窓口で受付。

定員を超えた場合は抽選になります。

【記念樹交付日】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹申請者

日時：令和4年3月13日(日)10:00~15:00

***市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を**

1本プレゼントしています。

申請期間は新築または購入日から1年以内です。

***当日検温とマスクの着用をお願いいたします。**

令和4年の幕開けですね。この冬はラニーニャ現象によって寒さが厳しく降雪が多くなるとの予想ですね。県北地方に比べると郡山市近郊は今現在は雪は少ないですが朝の冷え込みは厳しい日が続いています。寒さが苦手な植物にとっては大変な時季ですがしなながらソメイヨシノのようにこの寒さにさらされることによって休眠が打破され開花に向けて動き出します。冬の寒さに体を丸めてしまう私たちと違いカエデ類のように既に水分の通導を始めているものもあります。この時季の植物の冬芽を観察すると普段は気づかない姿を観察できるかもしれませんね。



My ガーデニング

…季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

この時季は雨や雪が少なく乾燥しているときには水やりをします。風が吹きつけるといっそう乾燥が進みます。秋に植え替えた植物は特に注意が必要です。ただあげた水が凍ってしまうとよくないので暖かい日を選んでその日のうちに地面が乾くようにします。時間的には昼前が適しています。室内や軒下に取り込んでいる植物にも注意を払ってください。特に寒さが苦手な植物には少し暖かい水をあげます。そうすると根を傷めることが防げます。敷き藁や腐葉土で地面を覆っておくと乾燥が防げます。水やりの量は根まで届かないと効果はありませんので樹木の場合はどっぴりと樹冠全体からあげるようにします。

【植替え】

この時季は常緑広葉樹には不向きですので3月中旬まで待ったほうが無難です。寒さに対しての抵抗力が低いからです。マツ類などの常緑針葉樹は厳寒期を除けば可能です。しかし適期は3月に入ってからです。落葉樹は特に厳寒期を除けば適期となります。大径木も含め枯れるリスクが低く素人の方でも行いやすく3月初めごろまでが適しています。ただし例外もあります。ボタンやボケは秋に植え替えをカエデ類の場合は既に水分の通導が始まっているので切り口から水分が流れ出て樹勢が落ちてしまうことがあります。サルスベリやザクロは3月下旬以降のほうが枯れる心配が少ないです。適期はその植物によって変わります。

【肥料】

これからが寒肥をあげる時季となります。庭植えの樹木の場合はこれ一回でも樹勢に大きな違いが出ます。その時の肥料は骨粉入りの油粕が適しています。油粕は肥料成分が少ないので多く入れたとしても肥料焼けの心配は少ないですね。ゆっくりと肥効が続き土壌改良にも効果があります。その時にはできれば土を掘り起こし肥料を混ぜてあげれば効果はもっと高まります。1㎡あたり200gくらいあげます。それができないときには張り出した枝の真下付近を数か所、ツボ穴状に掘って埋めてもよいです。今あげておくと春からの緑の濃さに違いが出てくると思いますよ。この寒さが厳しい時季に行くと効果が高い作業があります。天地返しです。粘土がきつい土地や雑草が気になるようなときは一度行ってみてください。また春からそこに植物を植えようと思っている場合も良いですね。スコップで土を掘り起こし寒さにさらすことによって土が風化し柔らかくなり病害虫や雑草も少し抑えられると思います。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。落ち葉はきれいに掃き集め焼却処分します。また幹などに着生している産み付けられた卵塊は見つけしだい取り除きます。ウズラの卵を小さくしたような殻が枝についているのが見かけますよね。これは幼虫の時には刺されると酷い痛みがあるイラガの繭です。カイガラムシなども樹皮に着生しているのでヘラなどを使ってこすり落としておきます。冬季にだけ使用できるマシン油乳剤や石灰硫黄合剤がありますが樹種によっては葉害が出る場合もありますので注意が必要です。写真はタマカタカイガラムシです。

**【剪定】**

常緑広葉樹は桜の花が咲きだすころまでは待ってほしいほうが無難です。アカマツなどの庭木は枝をすかさず剪定の時季です。しかし今年の芽は切ってはいけません。あくまでも込み入った枝の間引きです。落葉樹はこの時季には強い剪定が可能です。しかしながら強い剪定を行うと弱ってしまわなければ春先には樹形を乱す強い枝が発生することも考えておいてください。ゴリゴリにひどく切られた樹木を見かけますがこれでは観賞価値がなくなってしまいます。そして太い枝が切られると樹木は弱ってしまい倒れることもあります。将来的にこの枝が邪魔になると思われた場合には細いうちに切るようにします。しかしこの時季からはカエデ類は移植と同じように切り口からは樹液が流れ出て樹勢が落ちてカミキリムシの被害も受けやすくなります。樹木にはそれぞれの綺麗に見える樹形があります。ナツツバキやカエデ類は自然樹形、イヌツゲやキャラボクは刈込樹形が適しています。

【身近な樹木の紹介】**ダンコウバイ（クスノキ科クロモジ属）**

ダンコウバイは関東から九州にかけての樹林に自生している落葉樹です。郡山市近郊では自生しているのを見かけることはありません。葉は先割れスプーンのように三裂し秋には鮮やかな黄葉が楽しめます。春先には同じ仲間のクロモジなどと似たような黄色の少し香りのある花を咲かせます。大きくは育たないので雑木の庭の低木として季節感を味わうことができる樹木です。すでに蕾は春を待つ膨らんできました。